

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	24230
事業名	道路交通調査費					
評価担当課	所属名	政)総合交通計 交通計画課				
	課長名	小林 伸樹	担当者名	藤田 武蔵	電話番号	011-211-2275
施策名	主	持続可能な都市を支えるネットワーク___1__交通ネットワーク				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	渋滞緩和等を目的とした交差点改良検討、社会情勢の変化を踏まえた長期未着手の都市計画道路の見直し検討を進める。			
		長期	既存道路ネットワークを機能強化するために、必要な交通円滑化対策や都市計画道路ネットワークの維持・充実を進める。			
	取組内容	道路ネットワークの機能強化に向けて次の取組を実施する。 ①交差点の改良などの交通円滑化対策の検討 ②札幌市都市計画道路の見直し方針や各種施策に基づく交通機能の検証など変更計画の検討 ③今後の交通計画の検討に必要となる道路の交通量や渋滞状況などの調査				
	実施結果	交通混雑が課題とされる交差点4箇所について、交通量調査結果をもとに平面交差点予備設計を実施した。また、「札幌市都市計画道路の見直し方針」に基づき、都市計画道路1路線の見直し検討を行った。				
事業実施における工夫点	渋滞対策において、中長期的なハード対策を検討するほか、短期的なソフト対策についても国などの関係機関と連携して検討を行った。					
対象者	市民	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	都市計画法、道路法、道路構造令、道路交通法					
他都市の状況	交通混雑緩和のための有効な対策として、他都市においても、交差点改良が実施されている。また、長期未着手都市計画道路の変更については、政令市20市で見直し方針等が策定され、見直しが実施されている。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	2,095	15,000	21,909	15,000	
うち特定財源	0	0	7,652	0	
人工	3.0	3.0	3.0	3.0	
人件費	21,600	21,600	21,600	21,600	
計(事業費+人件費)	23,695	36,600	43,509	36,600	
事業費の内訳	令和3年度決算	○道路交通円滑化対策検討に関する費用 4,980千円 ○都市計画道路変更計画検討に関する業務委託費用 4,403千円 ○交通量調査に関する費用 11,671千円 ○事務費 855千円			
	令和4年度予算	○道路交通円滑化対策検討に関する費用 5,000千円 ○都市計画道路変更計画検討に関する費用 4,000千円 ○交通量調査に関する費用 5,000千円 ○事務費 1,000千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	渋滞交差点の対策検討箇所数				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定		
	0箇所	4箇所	4箇所	4箇所		
活動指標2	指標名	都市計画道路の変更計画策定				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定		
	2路線	7路線	7路線	1路線		
成果指標1	指標名					
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標		
成果指標2	指標名					
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標		
項目	判定	理由				
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	交通混雑が課題とされる交差点について、交通量調査結果をもとに平面交差点予備設計を実施し、事業化に向けた協議調整を行った。 また、「札幌市都市計画道路の見直し方針」に基づき、都市計画道路の変更を行った。				
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	渋滞が生じている交差点や長期未着手の都市計画道路は市内に数多くあることから、事業効果の高い箇所について優先的に調査・検討を進めている。				
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	本事業は専門性を要するため、技術的な検討については業務委託により実施しており、効率的な業務執行に努めている。				
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	交通円滑化対策は、渋滞緩和等の効果があるほか、CO2削減やバスなどの公共交通機関における定時性向上に寄与する。また、整備未着手の都市計画道路において利用制限がかけられている土地の所有者は、都市計画道路の見直しによって土地の有効活用を図ることができる。				
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input checked="" type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	なし					
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし					
今年度取り組んだ見直し内容	なし			見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし					
評価の理由	当事業により調査・検討した箇所は、順次、関係機関(交通管理者など)との協議・調整を行い、必要な計画変更などを経たうえで事業を実施している。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="radio"/> 改善 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 事業効果の高い箇所を優先的に、引き続き調査・検討を進めていく。				
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 引き続き、必要となる調査・検討について、適切な予算措置を行う。			見直し効果額	0